

新年のご



愛知県議会議員
横井五六

あけましておめでとございます。皆様方には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、日本一の産業集積地「愛知」においては、アフターコロナを見据えた経済の力強い回復を実現するため、国際競争力を強化する道路・港湾などの整備やまた、防災・減災、国土強靱化の取組の強力かつ着実な推進を図っているところであります。

また現在本県においては、第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の開催（2026年）、ジブリパークやスタートアップステーションAIの整備等、様々な施策、プロジェクトを展開しているところであります。

地元の愛西市では、近年、人口減少や少子高齢化が急速に進んでおり、その対策として、鉄道駅を核とした市街地整備や、企業誘致による



愛知県知事
大村秀章

あけましておめでとございます。昨年は、新たに「ものけの里」が開園した「ジブリパーク」を始め、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」や「愛知国際アリーナ」の整備を着実に推進するとともに、2026年の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けた準備をしっかりと進め、愛知を更なる「飛躍」へと導く1年とすることができました。

また、「少子化対策パッケージ」や「休み方改革プロジェクト」など、時代の流れを見極めながら、愛知が「ファースト・ペンギン」となり、様々な取組に果敢にチャレンジした1年でもありました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、SDGs実現に向けた潮流など、大きく変化をしています。

今年も、ビッグプロジェクトを着実に進めるとともに、新時代を担う人材の育成・発掘に力

を注ぎ、「日本一元気なあいち」の実現を目指してまいります。

今年3月には、ジブリパークがフルオープンを迎えます。また、10月には、「STATION Ai」が開業します。世界中から、最先端の技術・サービス、人材を愛知に呼び込み、イノベーションを次々と創出することで、更に人材が育ち集まってくる、そうした人材の好循環を生みだし、更なる愛知の成長につなげてまいります。

また、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注いでまいります。

引き続き、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

雇用の創出など、県ともしっかりと連携して取り組んでまいります。

ゼロメートル地帯の安全・安心に向けた取組として、昨年は、永和荘跡地での防災拠点整備を始め、日光川右岸堤防道路「諸桑工区」の工事着手、鶴戸川から木曾川への放水路整備、善太川の流下能力向上のための河床掘削の他、治安の要である津島警察署の建て替え等、実施しております。

当地域の排水の要である日光川河口の排水機については、国土交通省へ増設の要望をしております、実現に向けて努力するとともに、引き続き当地域の安全・安心対策に誠心誠意尽くしてまいります。

皆様方におかれましては、より良い愛知づくりのために更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が一層輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。